



ボランティアセンターだより



2020年3月 No. 136号

もしものケガに備えて…

ボランティア保険のご案内



兵庫県ボランティア・市民活動災害共済

内容：ボランティア活動中の万が一の事故に備える保険

- ①傷害保険金②損害賠償責任保険金
- ③死亡見舞金

掛金：年間500円/1人

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

兵庫県ボランティア活動等行事用保険

内容：事業活動中のボランティアや参加者のケガおよび、主催者が賠償責任を負った場合に備える保険

- ①損害保険金②賠償責任保険金

掛金：50円/1人(1日20人以上必要)
1週間前までには申込みが必要



朗読ボランティア講習会【初級】

情報を音声に変えて視覚障がい者や高齢者などにお届けするボランティアです。

- 日時：4月16日(木)
4月30日(木)
5月14日(木)
5月21日(木)
6月4日(木)
6月18日(木)



時間：10時～11時30分

場所：広田地区公民館 第3会議室

対象：全回出席できる人(定員15名)

講師：デイジー淡路 代表 安岡秀美氏

申込み：ボランティアセンターまで



南あわじの中心で「助けて」とさげました

2月21日に「助けられ上手講座 南あわじ市の中心で『助けて』とさげぼう！」を開催し、36名の方に参加していただきました。

ご近所付き合いの流儀は「お節介と言われぬ程度に関わる」が当たり前になっていますが、その当たり前を少しだけ変え「助けて」ということで「助け合い」が生まれると、寸劇を交えながら学びました。その後、グループに分かれてカードを使って助け合いの模擬体験を行う「新・助け合いゲーム」を行い、気兼ねなく助け合える関係を作っていくことが大切だとみなさんと共有する時間となりました。

当日の様子はケーブルテレビでも放送されます。

放送日 **3月4日(水)**



「ギョギョタウン」ボランティア募集

場所	福良郵便局前の空き家
内容	見学者・観光客への対応 水槽の掃除のお手伝い
活動日	毎日 (可能な日のみでOK)
問合せ	福良町づくり推進協議会 ☎50-3048 (福良地区公民館)



一緒に活動せんかよ～!



おもいやりポイント制度説明会

日時：**3月25日**(水) 14時～

場所：伊加利地区公民館(伊加利614-2)

内容：おもいやりポイント制度の概要

伊加利こども園での活動例の紹介 など

ほつと一息



花粉症の方も多いのでは？花粉の要注意日

- ① 天気が晴れまたは曇り
 - ② 最高気温が高い
 - ③ 湿度が低い
 - ④ 前日が雨
 - ⑤ やや強い南風が吹き、その後北風に変化したとき
- 前日または当日の未明まで雨で、その後天気が急に回復して晴れ、南風が吹いて気温が高くなる日が要注意日となるので気をつけましょう。

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp





生活支援コーディネーターだより



心のケア

～ほっとほほえみ淡路島～



みんなで笑いましょう♪

2月8日（土）福良の北納屋サロンで心のケアのお話の講座が開かれました。「外に出られない人、心がしんどい人はどうしてあげればいいんでしょう？」とサロンの参加者の疑問を受け、いのちとこころのセミナーをされている「ほっとほほえみ淡路島」というボランティアグループの代表の渡辺さんと相曽さんに心のケアのお話をさせていただきました。

参加者は2人組になり、代わるがわる相手を褒めちぎります。褒められたほうは「おっしゃる通り」「お目が高い」と誉め言葉を受け入れ、返事をします。褒められると決して悪い気はしません。“少しくすぐったいけれど、うれしい!!”そんな小さな心のくすぐりを全員で感じ取りました。

また、最後に渡辺さんが「これだけは覚えて帰ってください」と手話を交えて教えてくださった言葉は、

①楽しいことをする ②のめりこむ（熱中する）③人の役に立つことをする です。自分を改めて賛美し、相手を認め合う良い機会になりました。帰りのみなさんの顔はほころんでいるようでした。



カフェ de みどりの家

～パンでつながる地域と施設～



毎月第2木曜日 14時から広田中学校前の「みどりの家」に、あわじ障害者多機能施設ウインズのパン屋さんが来ます。そのパンを求めて近所の方たちが訪れます。

もともとそこは食料品のお店をされていた場所で、12年前にお店の閉店後、小規模多機能型介護事業所「みどりの家」が出来ました。「地域に密着した事業所に」と地域に向かって働きかけ、食料品店の頃より地元の方たちにたちにとって馴染みのある場所が、今も同じように入っていくやすい場所となっているようです。多い日には12、3人も来られ、フロアは賑わいがあります。みどりの家では、パンを求めてこられたご近所さんに、場所とコーヒーを提供されており、にわか集いの場となっています。来られた方が準備されているコーヒーをめいめいにカップに注ぎ、ほんの20～30分ですが、おしゃべりをして帰って行かれます。ご近所でデイサービスに通所されている方とのコミュニケーションもあり、元気な姿を確認されているようです。

よく、介護サービスの利用が始まれば、地域との関係が希薄になりやすいといわれますが、ここではその心配もないようです。実に自然でゆったりとした時間が流れていました。

